

## 別添資料2-1 佐原広域交流拠点の概要

項目	国の敷地	市の敷地
所在地	千葉県香取市佐原イ 4051-3 他 (本宿耕地地先)	千葉県香取市佐原イ 3981-2 他 (本宿耕地地先)
敷地面積	約 165,000 m <sup>2</sup> (図上計測による)	4,242 m <sup>2</sup> (丈量図より)
地域地区	都市計画区域 (用途無指定)	
建ぺい率	60%	
容積率	200%	
建築基準法	第 22 条区域	
高規格堤防特別区域	一部指定	全域指定
自然公園法	水郷筑波国定公園 (第 3 種特別地域)	-

## 別添資料2-2 主な本件施設の概要

施設名	項目	内容	
大階段	概要	面積	—
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	市
	機能	高規格堤防の一部である。	
地域交流施設前法面	概要	面積	—
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	市
	機能	高規格堤防の一部である。	
歩行者・自転車道等	概要	面積	—
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	市
	機能	自動車、自転車、歩行者の本施設内の移動や周遊ルートとして活用される。 構成施設：車両用坂路、歩行者用坂路（バリアフリー）、広域自転車道 等	
MIZBESTEーション	概要	面積	約 4.5ha
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国（大型駐車場・芝生広場は市）
	機能	水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄し、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保する。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場、及び河川を中心とした文化活動の拠点として活用される。 構成施設：ヘリポート、大型駐車場、資材置場（芝生広場）、資材置場、場内道路（市道部分）、職員用駐車場、植栽帯 等	

施設名	項目	内容	
車両倉庫・建設機械倉庫	概要	建築構造	S 造 1 階
		建築面積	約 360 m <sup>2</sup>
		延床面積	約 360 m <sup>2</sup>
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国
	機能	災害時に利用する災害対策車両及び関連する備品を保管する。	
河川利用情報発信施設 (川の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階 (水辺交流センターとの合築建物)
		建築面積	約 1,080 m <sup>2</sup>
		延床面積	約 1,490 m <sup>2</sup>
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	国
	機能	<p>災害時には国の防災センターとして河川情報を収集し現地の指令を行う他、自治体及び関係機関、協定会社と連携した災害対策活動を行う場として整備された。平常時は、有効利用を目的に災害情報や防災意識の高揚等に資する施設として防災教育常設展示室 (利根川下流域における河川改修と浚渫事業の歴史をテーマとした展示及び収蔵) 等として活用する。</p> <p>構成施設：車両倉庫、河川情報室、屋外建設機械展示場、建設機械倉庫、さわらホール、災害対策支援室 等</p>	
交流広場	概要	面積	—
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	国
		施設管理者	市
	機能	利用者と住民の交流スペースである。	

施設名	項目	内容	
水辺交流センター (川の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階 (河川利用情報発信施設との合築建物)
		建築面積	約 440 m <sup>2</sup>
		延床面積	約 830 m <sup>2</sup>
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	<p>車両倉庫、河川利用情報発信施設と連携して機能する市の水防センターとして整備された。平常時は、有効利用を目的に佐原河岸の利用者や水辺レクリエーションのための利便施設として活用する。</p> <p>構成施設：水防倉庫、情報収集室 (多目的研修室)、水防従事者休憩室 (クラブハウス・シャワー室・ロッカー室)、水防従事者控室 (地域物産館)、水防学習備品倉庫 (レンタサイクル)、屋外水防従事者用トイレ 等</p>	
地域交流施設 (道の駅)	概要	建築構造	S 造 2 階
		建築面積	約 1,300 m <sup>2</sup>
		延床面積	約 1,412 m <sup>2</sup> (うち増築部分 302 m <sup>2</sup> )
		竣工	平成 21 年 (増築：平成 29 年)
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	<p>「道の駅」として整備された以下の 2 施設である。</p> <p>1) 地域振興施設 都市と農村の交流を促進する場として、特産物直売所、飲食施設を備えた施設である。 構成施設：物販施設・飲食施設 (現フードコート)、特産品直売所 等</p> <p>2) 交通安全施設 24 時間利用できる便所、案内コーナー、公衆電話等を整備し、道の駅の登録要件を満たす施設である。 構成施設：便所・休憩所・情報コーナー、駐車場 等</p>	
エントランス広場	概要	面積	約 440 m <sup>2</sup>
		竣工	平成 21 年
		施設所有者	市
		施設管理者	市
	機能	河川利用情報発信施設・水辺交流センター (川の駅) と地域交流施設の間に整備されたオープンスペース (広場) である。	

施設名		項目	内容		
修理ヤード	概要	面積	約 345 m <sup>2</sup>		
		竣工	平成 21 年		
		施設所有者	市		
		施設管理者	市		
	機能	プレジャーボート等の簡易な修理等を行うためのオープンスペースである。			
河川環境施設	利用ゾーン（親水）・（湿地）	概要	面積	約 7.0ha	
		竣工	平成 21 年		
		施設所有者	国（河川敷臨時駐車場は市）		
		施設管理者	市		
	機能	<p>1) 利用ゾーン（親水）</p> <p>水辺体験・環境学習の場やイベント利用の場として整備され、親水空間の形成が図られている。</p> <p>構成施設：ふれあい水路・水辺、観察用通路・礫場、カヌー乗り場、河川敷臨時駐車場 等</p> <p>2) 利用ゾーン（湿地）</p> <p>湿地と一体的に、観察用通路が整備されている。</p> <p>構成施設：観察用通路、湿地 等</p>			
	佐原河岸	概要	面積	約 2.2ha	
			竣工	平成 21 年	
			施設所有者	国（係留栈橋、舟運発着所は市）	
			施設管理者	市（航路、巡視船栈橋は国）	
	機能	<p>佐原河岸は車両倉庫・河川利用情報発信施設・水辺交流センター（川の駅）、地域交流施設（道の駅）、利用ゾーンと接する河岸施設及び利根川水面（一部）の総称である。水辺や水面の利用の場等として維持管理・運営を行っている。</p> <p>構成施設：航路、環境護岸、船舶昇降スロープ、ボートヤード、係留栈橋、舟運発着所、水辺広場、ボードウォーク、転落防止柵、散策路、佐原ドック、巡視船栈橋 等</p>			
緊急船着場	概要	面積	約 0.3ha		
		竣工	平成 21 年		
		施設所有者	国		
		施設管理者	市		
	機能	災害時の緊急船舶の船着場である。			